

予 算 要 求 資 料

令和5年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 **がん診療施設設備整備事業補助金** (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 がん・受動喫煙対策係 電話番号：058-272-1111(内3321)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 7,192 千円 (現計予算額： 78,322 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	78,322	0	0	0	0	0	78,322	0	0
補 正 要求額	7,192	0	0	0	0	0	7,192	0	0
決定額	7,192	0	0	0	0	0	7,192	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・がんは、県民の健康において大きな脅威であり、がん診療連携拠点病院を中心にがん診療の均てん化が急がれている。
- ・地域のがん診療水準の向上を図るため、がん診療施設が行う施設及び設備の整備に対し補助する。

(2) 事業内容

【補助対象事業者】

公的団体、民間病院

【補助対象及び補助率】

⑦施設整備：がん診療施設棟、がん専用病棟の新築・増改築に要する工事費

補助率0.33以内

⑧設備整備：がん診療施設として必要な、がんの医療機器及び臨床検査機器等の備品購入費

補助率1/3以内

(3) 県負担・補助率の考え方

国2/3、県1/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	7,192	がん診療施設の施設整備に対する補助
合計	7,192	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第7期岐阜県保健医療計画
- ・ 第3次岐阜県がん対策推進計画

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域のがん医療を実施するがん診療連携拠点病院やかかりつけ医との連携体制を構築し、診療水準の向上を図るため、がん診療施設が行う施設及び設備の整備に対し補助する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①がんの年齢調整死亡率	76.3	65.2	—	60.0	60.0	92%

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>地域のがん診療における連携の中核となるがん診療連携拠点病院や、同拠点病院をサポートする精密検査などを実施している病院に対し、その施設整備及び検査機器などの設備整備導入を支援する。</p> <p>補助実績</p> <p>28年度：6病院 50,237千円 うち施設整備 0円</p> <p>29年度：9病院 67,041千円 うち施設整備 0円</p> <p>30年度：7病院 50,478千円 うち施設整備 0円</p> <p>元年度：7病院 49,027千円 うち施設整備 0円</p> <p>2年度：7病院 47,144千円 うち施設整備 0円</p>
令和3年度	<p>病床再編を行い、機能分化を推進する病院の施設への補助を行った。</p> <p>3年度：6病院 21,183千円 うち施設整備 6,139千円</p>
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>がんが、県民の大きな脅威となっていることから、地域におけるがん診断ならびに化学療法などのがん診療体制を充実するなど、がん医療の均てん化を進める必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>がん診療連携拠点病院及びそれをサポートする医療施設におけるがんの検査・診療能力が向上することにより、拠点病院を中心とした連携体制の構築とがん診療の均てん化が一層進むものと考えられる。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>保健医療計画に基づき、効率的に事業が実施されている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 がんは死亡原因の3割近くを占めており、がん検査体制を強化し、がんを早期発見し早期治療につなげること、また、手術、放射線療法及び化学療法を組み合わせた集学的治療の充実が求められている。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか がんは県民の大きな脅威となっていることから、地域のがん診断や、放射線療法、化学療法などのがん診療体制を充実するなど、がん医療の均てん化を進めるため、引き続き、施設・設備整備に対し支援を行っていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	